

テーマの背景：京都市立芸術大学ビジュアルデザイン専攻にて行われている創造性教育は、それぞれの物語と主体性の掘り下げに始まり、新たに構築される独自の世界観（コスモロジー）を基盤としてニッチマーケットを構築する可能性を秘めている。本テーマでは ANSHIN デザインプロジェクト、及び京都市立芸術大学ビジュアルデザイン専攻にて行われている開発や創造性教育に部分的に参加するとともに、その記述を行うことによって、既存の価値観や手段の結合ではなく、参加者の主体性をスタートとした創造の方法論を構築する。

Creativity education which begins to delve into each of the personal stories(Cosmology) have a possibility to build a niche market. Developments in the “ANSHIN design project” and some of the creativity education in Kyoto city university of arts are possible to participate. Task is description of the methodology for creation based on each participant’s specialty.

5月15日（金）14:00～：デザイン実践のコンセプト説明と京都市立芸術大学学生との交流会〈餃子会＋ワイン会〉（京都市立芸術大学 新研究棟）

【テーマ選択と各デザイン実践の参加】

- ・「パッサージュと疏水そして巡礼の道」パリとテヘランの大学との共同授業（商品、エネルギー、宗教といった現代社会の様相を浮かび上がらせる）
- ・「日本科学未来館” おやっこひろば” のグッズ」：科学的な「モノの見方」を親子で一緒に体験するスペースのデザイン
- ・「嚙下食のデザイン」



7月13日（月）13:00～14:00：履修生中間発表（各30分＋討論），

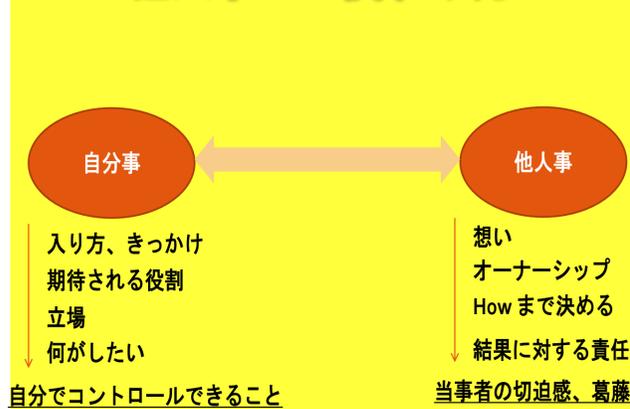
14:00～15:00 描画実習「みる」という感触を実感として得るための実習 and sweets（京都市立芸術大学 新研究棟）

7月31日（金）9:00～：ANSHIN デザイン実習成果発表会（各30分＋討論）（吉田 FAB デザインファブリケーション拠点 Presentation Studio）

選択テーマ：「嚙下食のデザイン」
 レポート題名：「他人事への関わり方」
 経営管理教育部・経営管理専攻 小東 茂夫

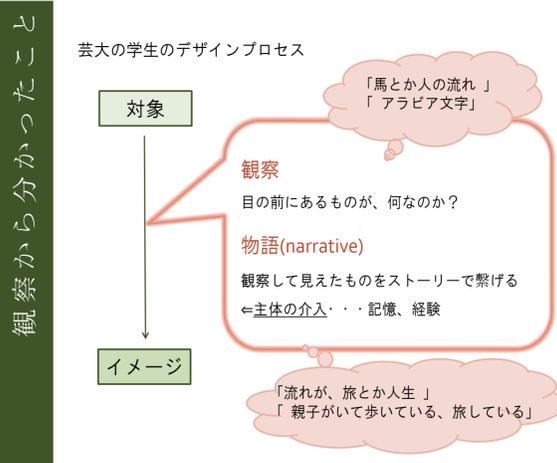
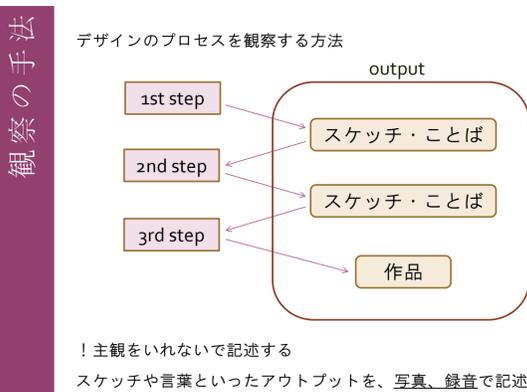


他人事への関わり方



一連の観察を通じ、他人が目的を設定した事への関わり方、自分の目的をもって他人に接することには、大変な難しさがあり、しかしそこから価値が生じる可能性も感じたということ報告した。

選択テーマ：
 「パッサージュと疏水そして巡礼の道」
 レポート題名：
 「芸大生のデザインプロセスの過程」
 工学研究科建築学専攻 竹内 萌

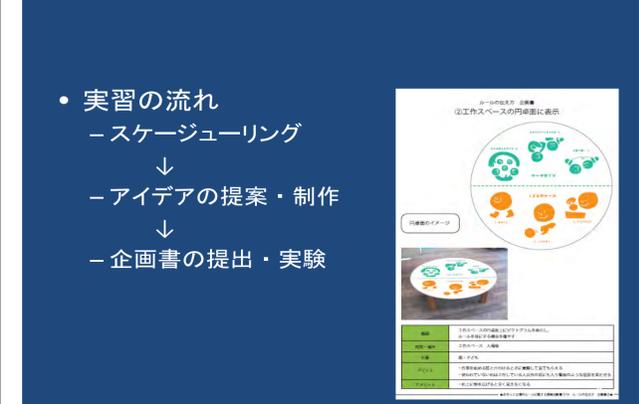
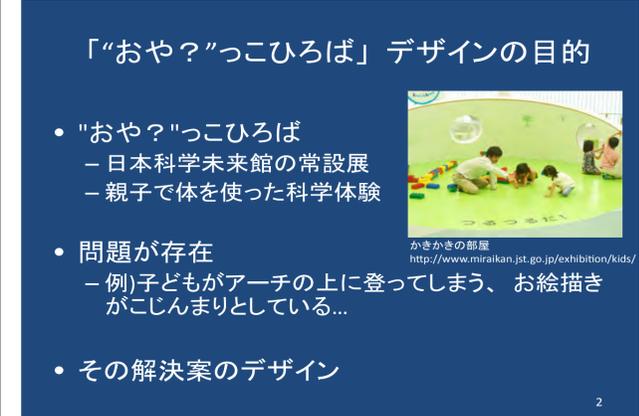


さいごにこの実習を通して、

- ・ それ自体を「みる」こと
- ・ 多主体で物語を共有すること
- ・ そのために表現すること

の重要性を実感した。

選択テーマ：
 「日本科学未来館” おやっこひろば” のグッズ」
 レポート題名：
 「"おや?"っこひろば」のデザイン過程
 教育学研究科教育学専攻 平岡 大樹



より良いデザインへの提言

- ・ 指導者による介入⇒ルール徹底、役割の等質化
- ・ リーダーシップ⇒集団自体による不公平感の低減 - PM理論(三隅, 1966):集団維持機能
- ・ 特殊なスキルを持っていることへの注目は必要(ex.Apple)